

令和5年 不妊治療成績

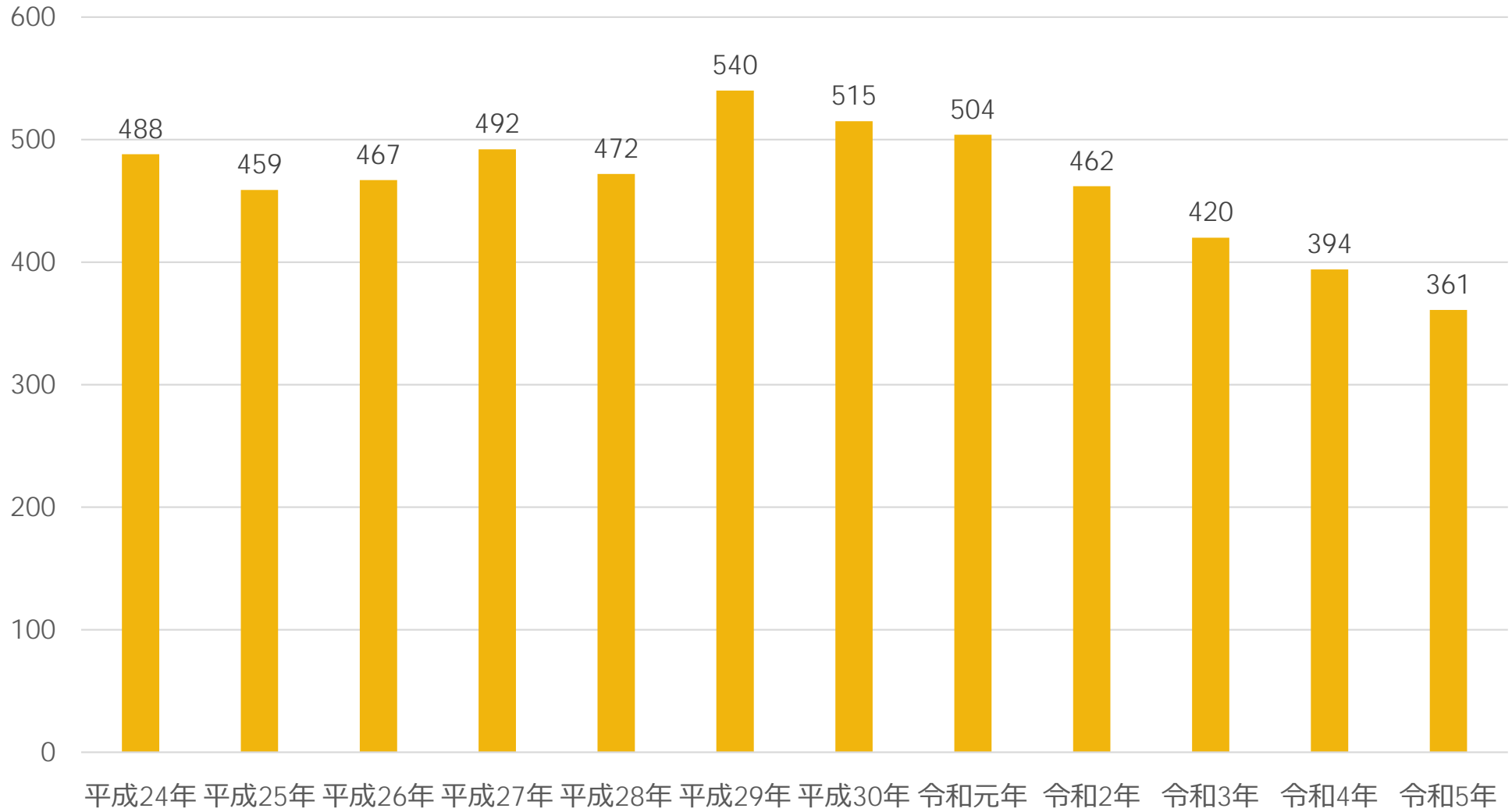
令和5年1月～12月

可世木レディースクリニック

年度別妊娠達成者

人

令和5年妊娠達成者361人

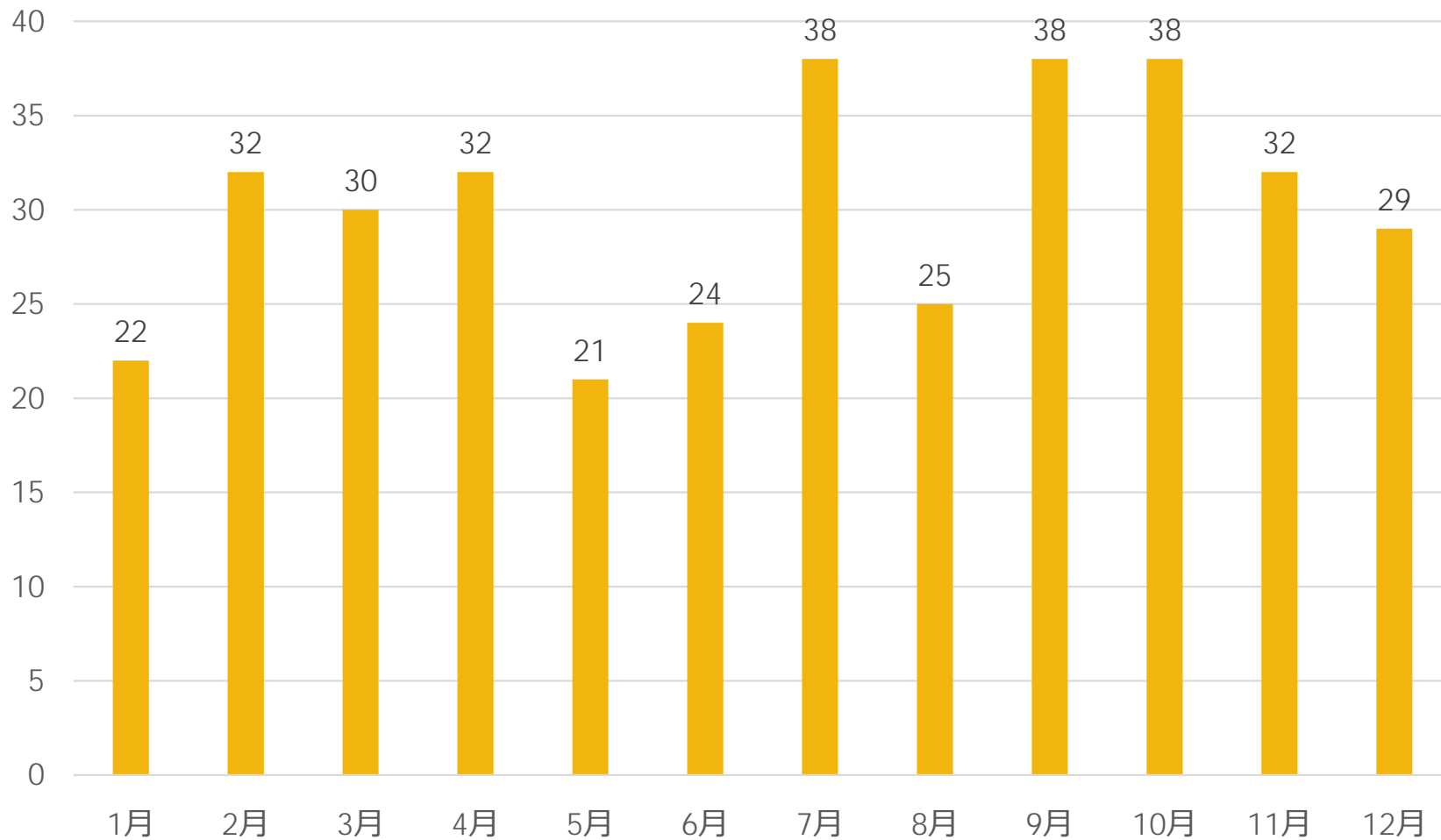




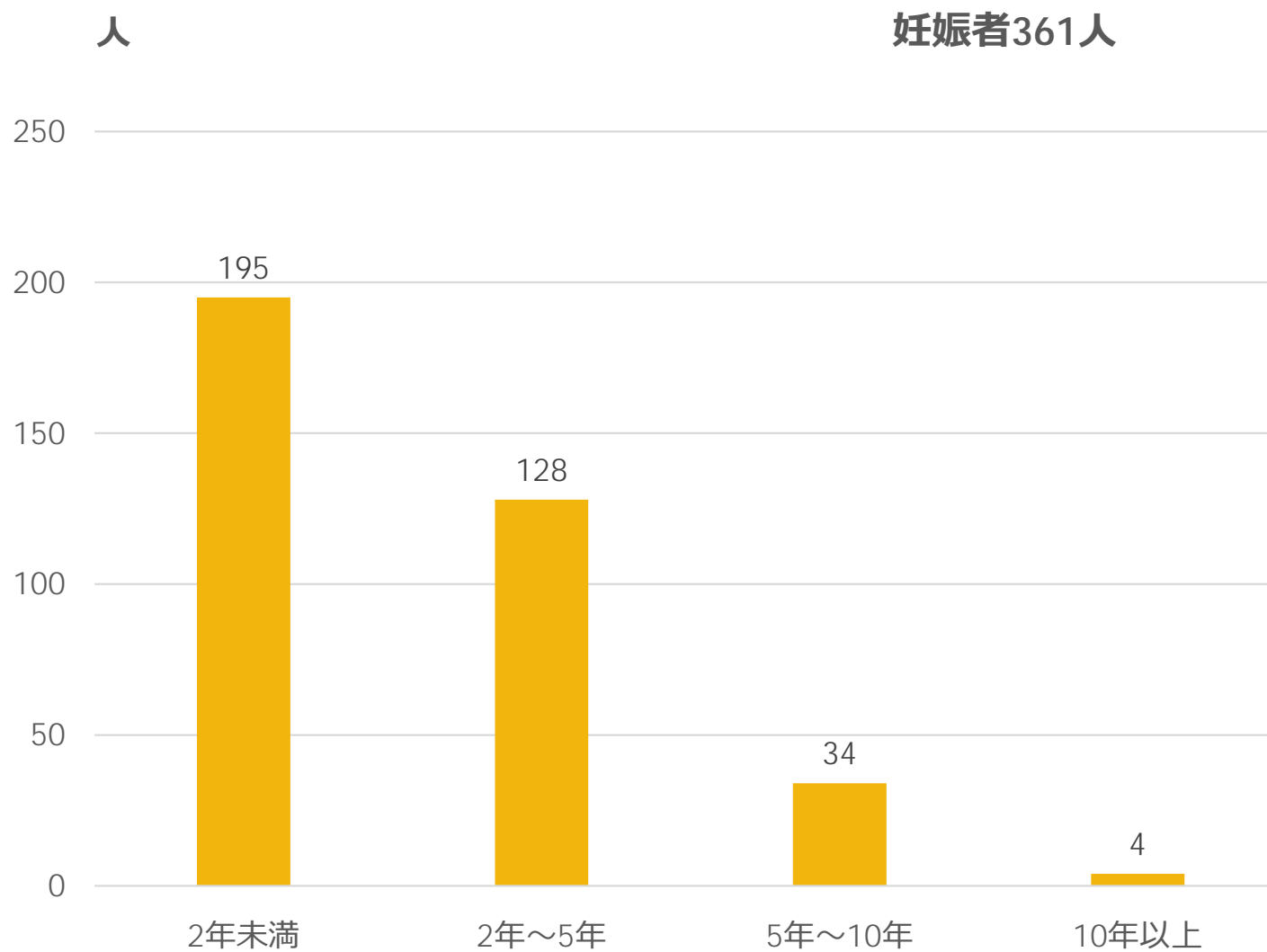
月別妊娠達成者

年間妊娠達成者 361人

人

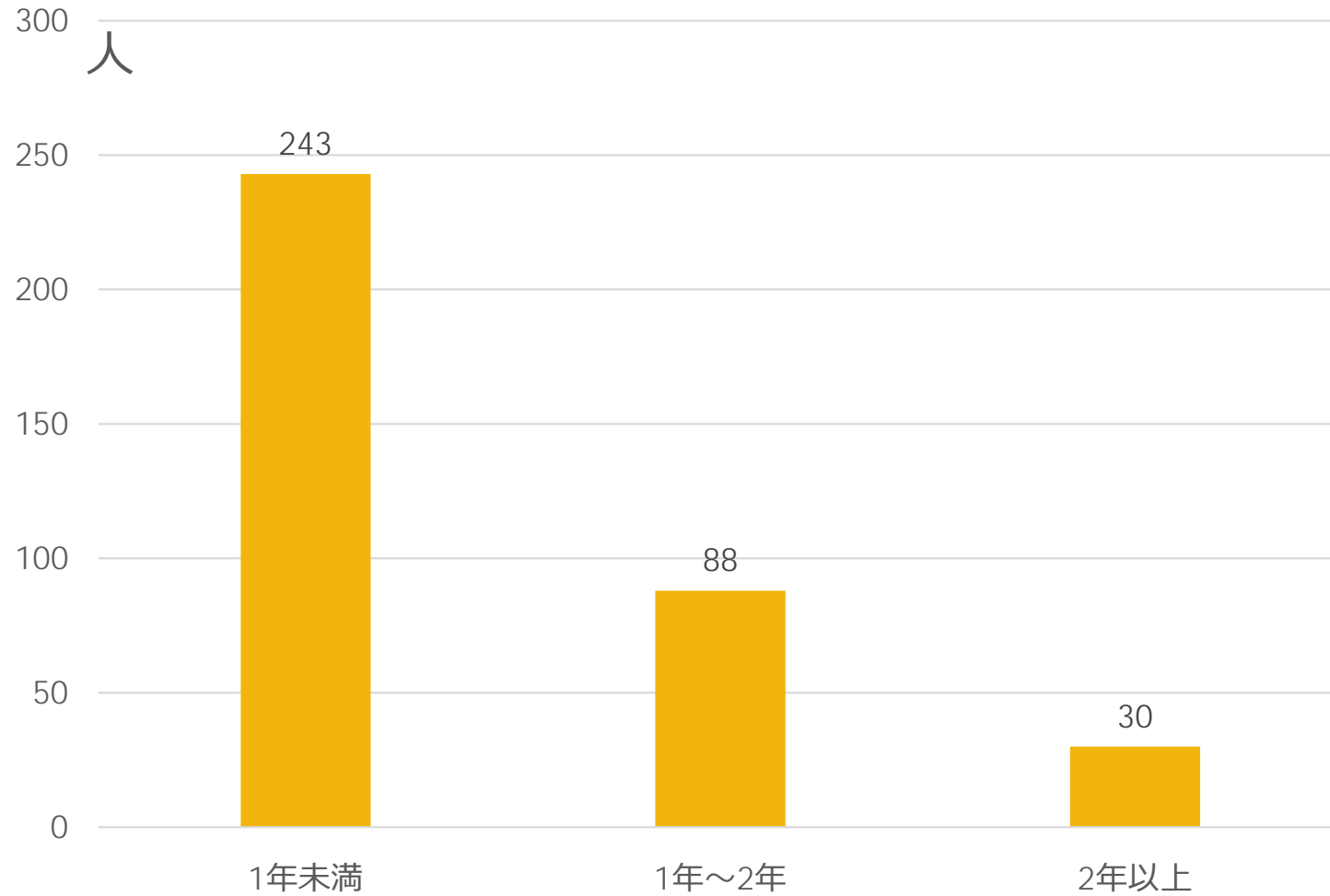


妊娠達成までの不妊年数



初診から妊娠達成までの年数

妊娠者361人





主な治療方法

- ① ART
 - IVF
 - ICSI
 - 凍結ET
 - ② AIH
 - ③ CC
 - ④ CC+HMG
 - ⑤ HSG後、通水後
 - ⑥ タイミング、自然妊娠
 - ⑦ その他（腹腔鏡、黄体補充、漢方など）
 - ⑧ シリンジ
-

治療法別妊娠達成者数

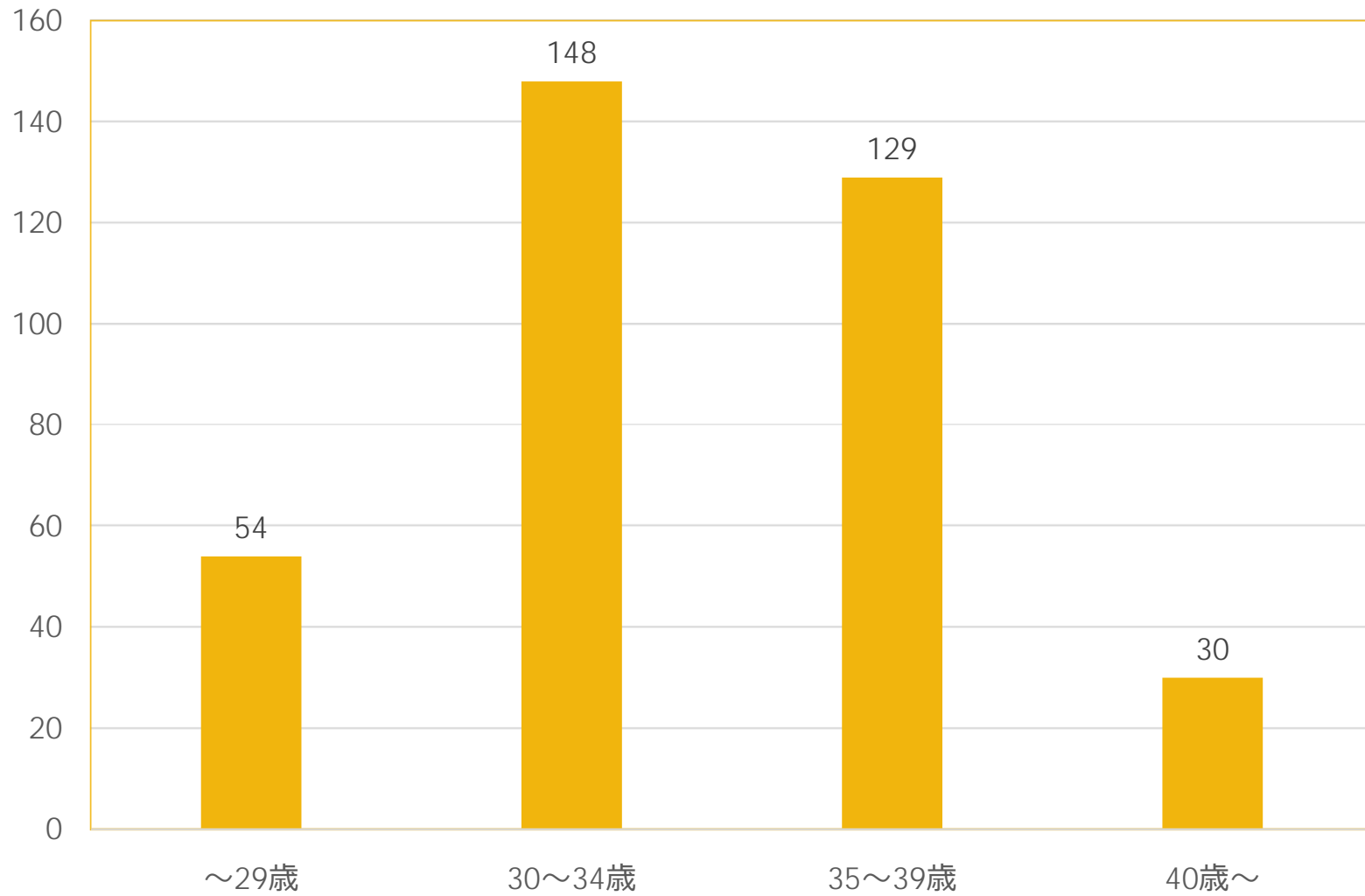
妊娠達成者361人

①	ART	225 (62.3%)
	IVF	0
	ICSI	3
	凍結ET	222
②	AIH	50
③	CC	14
④	CC+HMG	8
⑤	HSG後、通水後	25
⑥	タイミング、自然妊娠	25
⑦	その他（腹腔鏡、黄体補充、漢方など）	9
⑧	シリンジ	5
	計	361

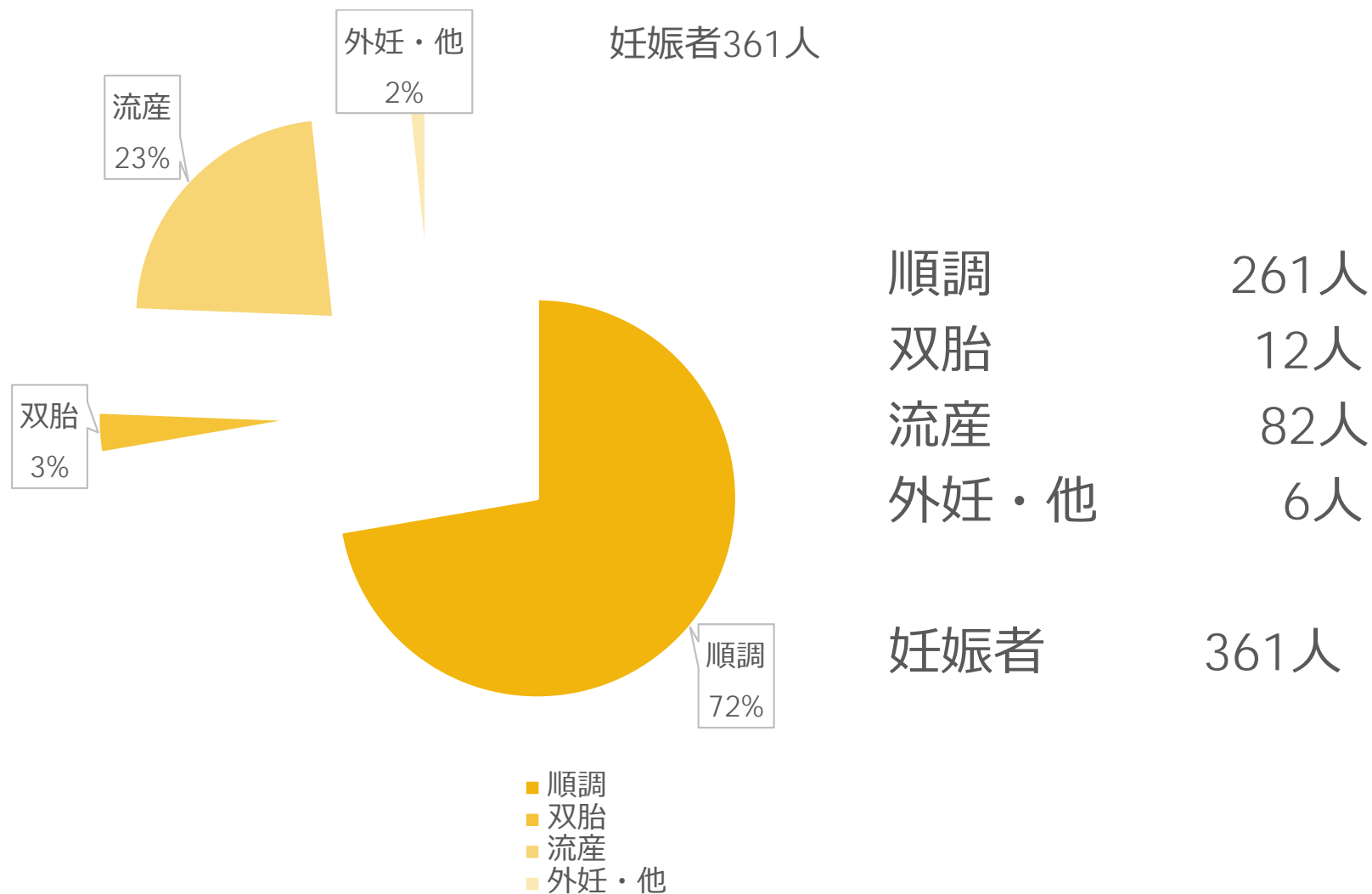
年齢別妊娠達成者

人

妊娠者361人



妊娠後の経過



治療法別流産率

	妊娠者	流産数	流産率 (%)
① ART	225	60	26.7
IVF	0	0	0
ICSI	3	1	33.3
凍結ET	222	59	26.6
② AIH	50	10	20
③ CC	14	1	7.1
④ CC+HMG	8	3	37.5
⑤ HSG後、通水後	25	2	8
⑥ タイミング、自然妊娠	25	4	16
⑦ その他（黄体補充他）	9	2	22.2
⑧ シリンジ	5	0	0
計	361	82	22.7



年齢別流産率

	妊娠者	流産数	流産率(%)
～29歳	54	4	7.4
30～34歳	148	35	23.6
35～39歳	129	34	26.4
40歳～	30	9	30.0
計	361	82	22.7



40歳以上の妊娠達成者治療法

40歳以上は30人

• ART	28人
IVF	0人
ICSI	0人
凍結ET	28人
• 一般不妊治療	2人
計	30人



排卵誘発別AIH妊娠者数

AIH妊娠者50人

• 誘発なし	9
• CC誘発	32
• CC + HMG誘発	8

計	50
---	----



治療法別の双胎妊娠数

全妊娠者数361人

• クロミッドのみ	2 例
• クロミッド+HMG	0 例
• 自然妊娠	0 例
• ART	10 例

• 計	12 例
-----	------



凍結胚移植成績

ホルモン補充周期/自然排卵周期
令和5年1月～12月

	移植数	妊娠数	妊娠率 (%)
ホルモン補充周期	501	197	39.3
自然排卵周期	130	49	37.7
計	631	246	39.0



AIH(人工授精)	10年間の成績					
	患者数	周期数	妊娠数	妊娠率(%) (妊娠数/患者数)	妊娠率(%) (妊娠数/周期数)	
平成21年	244	613	35	14.30%	5.70%	
平成22年	274	717	51	18.60%	7.10%	
平成23年	267	756	55	20.60%	7.30%	
平成24年	320	850	72	22.50%	8.50%	
平成25年	310	814	54	17.40%	6.60%	
平成26年	323	883	68	21.10%	7.70%	
平成27年	397	1078	76	19.10%	7.10%	
平成28年	382	1024	53	13.90%	5.20%	
平成29年	312	789	61	19.60%	7.70%	
平成30年	303	810	55	18.20%	6.80%	
合計	3132	8334	580	18.50%	7.00%	

令和5年ART治療成績

新鮮胚移植

<受精方法>

	胚移植周期数	妊娠数	妊娠率(%)
IVF	1	0	0.0
ICSI	19	3	15.8
合計	20	3	15.0

<年齢別>

	胚移植周期数	妊娠数	妊娠率(%)
～29	2	0	0.0
30～34	2	1	50.0
35～39	11	2	18.2
40～	5	0	0.0
合計	20	3	15.0

凍結融解胚移植

胚移植周期数	妊娠数	妊娠率(%)
628	221	35.2

<年齢別>

	胚移植周期数	妊娠数	妊娠率(%)
～29	46	21	45.7
30～34	194	82	42.3
35～39	245	89	36.3
40～	143	29	20.3
合計	628	221	35.2

解説

令和5年の治療成績がまとまりましたのでご報告します。

妊娠達成者数は以前は500人を超えていた時もありましたが、一昨年は394人、昨年は361人と更に減りました。日本全体でも出生数が75万人前後に減ったと報告されています。数年前に100万人を切ったばかりでしたが、コロナで加速されたようです。社会全体が結婚や妊娠に関心ない、あるいはそんな余裕がないということなのではないでしょうか？生殖補助医療の保険適応という追い風も関係なかったように思われます。コロナとの共存が見え始めた今日ですので、出生数も増加へと転じてほしいと切に願います。

妊娠者361人の内訳は、ARTが225人(62.3%)、一般不妊治療が136人でした。ARTの占める割合がコロナ前は55%前後でしたが、ここ3年間は60%を超えています。外来受診数の減少も考え合わせると、不妊治療を受けるかどうか迷い受診控えをする人が多くいる中、自分の治療は積極的治療しかないと考える人は、コロナ下でも多数いることが伺えます。

流産率は全体で22.7%で前年とほぼ同じでした。しかし、ARTだけに限ると流産率は26.7%と増えました。ようやく妊娠したのに流産に沈むケースが多くあり、悩みます。

40歳以上の妊娠について述べますと、妊娠達成者は30人で、その内28人がARTでの妊娠です。40歳以上は一般不妊治療ではなかなか結果を出せず、ARTでも妊娠率が下がります。少しでも若いうちに妊娠を目指してほしいものだと思います。

双胎は全体で12例でした。その内ARTでの双胎は10例でかなり増えました。胚移植は原則1個ですが、保険適応になって移植回数の制限が加わったため、適応回数が少なくなると2個移植して妊娠率を上げようとしています。この為、双胎が増えたと考えていますが、場合によってはこの2個移植もやむを得ないと考えています。

令和5年ART治療成績もご覧ください。新鮮胚移植より凍結胚移植の方が成績がよいことから、当院でも移植は凍結胚が大部分を占めていますが、新鮮胚移植も捨てきれないものがあります。移植方法は個別に検討していますのでご相談ください。自然排卵周期とホルモン補充周期での凍結胚移植成績に差がありませんでした。月経周期が安定している方は自然排卵周期での凍結胚移植でいいと思います。

毎月の妊娠達成者を治療内容とともに、クリニック内に掲示しています(もちろん名は出していませんが)。一人でも多くの方に掲示表に載って頂けるよう頑張っていきたいと思えます。